

平成 25 年度
事業報告書
決算報告書

自 平成 25 年 4 月 1 日
至 平成 26 年 3 月 31 日

一般社団法人日本オーディオ協会

平成 25 年度事業報告書

(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)

本協会は定款の目的に従い、豊かなオーディオ文化を広め、楽しさと人間性にあふれた社会を創造することを目指して、オーディオ及びオーディオ・ビジュアル（以下オーディオ等）に関する調査及び研究、普及及び啓発、基準の作成、情報の収集・分析及び提供、展示会の開催、人材の育成、内外関係機関との交流及び協力、ソフト・ハード・出版物の販売等、本協会の目的を達成するために必要な事業を実施しました。

前年度、創立 60 周年を迎えた本協会にとって、平成 25 年度は新たなスタートを切る年度となり、今一度、設立趣意に立ち返り、再生音楽文化すなわちオーディオ文化を広める為の啓発活動の強化と、啓発活動のバックボーンとなる技術的な知見と論理構築を大きな柱として活動を行いました。

これらを基軸に協会設立の理念である「良い音を、良い環境で」を基本方針に普及・啓発活動を推進しました。平成 25 年度に実施した主たる事業は、定款 第 4 条各号に沿った通りであります。

(第 1 号) オーディオ等に関するソフト、ハード、視聴環境の調査及び研究

技術会議では再生音の定位をテーマとして取り上げ、東京藝術大学への受託研究によりヘッドホン試聴における頭内定位問題の技術的検証を行い、その結果をもとにオーディオ・ホームシアター展での技術展示とセミナーを開催し、また JAS ジャーナルへの寄稿を通して、より良い再生環境の提案に努めました。また、JEITA ネットワークオーディオ専門委員会と連携し、新たなオーディオとしてのファイル音源再生の普及促進を目的に、新音源検討委員会の中にネットワークオーディオ技術 WG を立ち上げ、オーディオ・ホームシアター展での技術展示、専用ホームページの公開等を行い、的確な情報発信をスタートさせました。ソフト・ハード各社から構成される BDM 研究会では「ハイレゾ音源」をキーワードに「ブルーレイディスク(BD)フォーマット」の音楽使用の普及に努めました。

(第 2 号) オーディオ等に関する普及及び啓発

5 月 1 日の「サラウンドの日」には平成 25 年 5 月 1 日から 3 日間、日本オーディオ協会会議室にて「ホームシアターミニセミナー」を開催しホームシアターの普及啓発活動をしました。「音の日」には「音の匠」の顕彰を通じて、音の世界の素晴らしさを認識して頂く為の活動を行いました。「オーディオ・ホームシアター展」(音展)では協会主催の各種セミナーや生録会等を実施しました。特に、恒例の「音のサロン」では様々なプログラムを用意し、多くの方に「良い音楽を良い再生環境」で楽しんで頂き、より良いオーディオ文化の普及に努めました。

(第 3 号) オーディオ等に関する基準の作成

ハイレゾ音源の普及に伴い、ハイレゾオーディオのガイドラインの設定、CD-1 に続くテストディスクの開発に関して検討を開始しました。

(第 4 号) オーディオ等に関する情報の収集・分析及び提供

会報誌 JAS ジャーナルを隔月で 6 冊発行しました。JAS ホームページでは JAS ジャーナルの配信、音展関係を含めて年間約 70 万ページビューの利用がありました。ホームシアターサウンドサイトはホームシアター普及に向けた具体的な情報発信を行い、年間約 40 万ページビューの利用が

日本オーディオ協会 Version 1.1 平成 26 年 6 月 5 日
ありました。また、新たにネットワークオーディオのホームページを立ち上げ、新たなオーディオとしてのファイル音源再生の普及促進を目指し、的確な情報発信をスタートさせました。市場分析関係では、平成 25 年度「オーディオ・ホームシアター展」来場者分析、また「国内オーディオ業界出荷統計」を法人会員向けに発行し、顧客及び市場動向の情報提供に努めました。

(第 5 号) オーディオ等に関する展示会及び啓発に関する催事の開催

「オーディオ・ホームシアター展」(音展)を平成 25 年 10 月 18 日～20 日の 3 日間、東京都江東区の「TIME 24」(お台場)にて開催し、多くの方々にオーディオ等の最新情報の提供や視聴体験会、セミナーを実施しました。

(第 6 号) オーディオ等に関する人材の育成

平成 22 年よりスタートした「デジタルホームシアター取り扱い技術者」資格認定講座(DHT 認定講座)は、平成 25 年度には 2 回開講し、今までに 122 名の合格者を認定しました。また、受講者拡大の為に大阪地区にて「DHT 体験セミナー」を開催し、DHT 認定講座の認知拡大に努めました。

(第 7 号) オーディオ等に関する内外関係機関との交流及び協力

第 20 回日本プロ音楽録音賞を関連団体と共催し、最優秀賞 6 作品、優秀賞 8 作品、ベストパフォーマンス賞 1 作品、新人賞 2 作品の受賞者を「音の日」に表彰しました。

(第 8 号) オーディオ等に関するソフト、ハード及び出版物の制作及び販売

オーディオエンジニア及び一般カスタマーに向け、再生音の評価や測定に役立つ CD、DVD 等の販売を行いました。また、新たな試みとして生録会での音源をハイレゾ音源に編集し e-onkyo を通じて販売いたしました。

平成 25 年度事業概要

1. オーディオ等に関する、ソフト、ハード、視聴環境の調査及び研究 (定款第 4 条第 1 号)

1.1. 技術会議 (中西 康之委員長、寺本 浩平委員長代行ほか 7 名)

➤ 技術会議開催経緯 (9 回開催)

◇ 平成 25 年 4 月 23 日、5 月 31 日、6 月 18 日、7 月 5 日、7 月 18 日、8 月 8 日、12 月 13 日、平成 26 年 1 月 22 日、2 月 27 日

➤ 活動内容 :

◇ 平成 25 年度のテーマとして再生音の定位を取り上げ、ヘッドホン使用における頭内定位問題の検討及び技術的検証を行った。特にアカデミカルな検証を行うために東京藝術大学に受託研究を依頼し、この研究結果をベースに課題の顕在化を図った。

◇ 主要活動結果 :

① 受託研究 :

- ・ 依頼先 : 東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科教授 亀川 徹氏
- ・ テーマ : 「ヘッドホン聴取とスピーカー聴取の比較に関する研究」
- ・ 内容 : 比較音源の作成、論文作成

② オーディオ・ホームシアター展における課題提起、及び、啓発活動 :

- ・ 東京藝術大学 亀川教授によるセミナー開催 (テーマ : ヘッドホン再生による音場再生

について)

- ・協会テーマコーナーとして「音場再生体験コーナー」と「ヘッドホン体験コーナー」の企画運営。

③ JAS ジャーナルへの寄稿：

- ・平成 25 年 7 月号：「技術会議」の設立目的と今年度活動概要（筆者：寺本委員長代行）
- ・平成 25 年 11 月号：ヘッドホン再生における音場再生とは（筆者：東京藝大 亀川教授）
- ・平成 26 年 3 月号：小型スピーカー、ヘッドホンでの音像定位実験について（筆者：穴澤理事）

1.2. BDM 研究会

- BDM 研究会はブルーレイディスクの音楽用活用拡大に向け、ソフト・ハード業界が一体となり、平成 23 年度に発足した研究会。平成 25 年度はハイレゾ音源の普及に伴い、「ハイレゾ音源再生」をキーワードに再生環境改善の一環として普及促進活動を行った。
- 研究会開催経緯（2 回開催）
 - ◇ 平成 25 年 4 月 25 日、8 月 22 日
 - ◇ 参加企業・団体数：約 30 社
- 主要活動内容：
 - ◇ オーディオ・ホームシアター展 でのセミナー開催：
 - ・タイトル：「Blu-ray Disc™ Audio」の凄さを聴こう
 - ・パネリスト：島田 和太氏（ユニバーサルミュージック合同会社執行役員）、前田 康二氏（バーニー・グランドマン・マスタリング日本代表）、堀 徹氏（メモリーテック・ホールディングス株式会社代表取締役）
 - ・コーディネーター：麻倉 怜士氏（AV 評論家）
 - ◇ BDA との調整による推奨名称の確認：
 - ・Blu-ray Disc™ Audio 等、登録商標「Blu-ray Disc™」を順守した名称の確認を行った。
- 付帯事項：
 - ◇ ブルーレイディスクの音楽用活用促進を目的として「Promotion Group of Blu-ray Disc for High Resolution Audio」がメモリーテック株式会社をはじめ 8 社で結成され「オーディオ・ホームシアター展」に於いて展示、試聴、セミナーを行った。

1.3. ネットワークオーディオ技術 WG（鈴木 信司主査ほか 13 名）

- 急速に普及してきた配信音源等のファイル音源再生を、新たなオーディオとして普及促進させる為に、新音源検討委員会傘下に新設。JIETA ネットワークオーディオ専門委員会と連携し、オーディオ・ホームシアター展での啓発活動、ホームページ立ち上げによりユーザーへの的確な情報提供を行った。
- WG 開催経緯（準備部会：2 回、WG：10 回開催）
 - ◇ 準備部会：平成 25 年 7 月 9 日、7 月 30 日
 - ◇ WG：平成 25 年 8 月 6 日、8 月 30 日、9 月 17 日、10 月 4 日、10 月 31 日、11 月 22 日、12 月 19 日、平成 26 年 1 月 22 日、2 月 27 日、3 月 27 日

➤ 活動内容：

- ◇ オーディオ・ホームシアター展での啓発活動：協会テーマコーナーとして、JEITA ネットワークオーディオ専門委員会協賛の下、ネットワークオーディオコーナーを企画運営し、より良いネットワークオーディオ再生環境の提案とユーザー啓発を行った。
 - ・ハード機器メーカー出展社数：11 社、35 機種展示
 - ・配信事業者数：3 社
- ◇ ホームページ立ち上げ：ネットワークオーディオに関する情報発信の為の専用サイトを JEITA ネットワークオーディオ専門委員会の協力の下、平成 25 年 10 月 18 日に立ち上げ、その後、コンテンツの充実を図り、ネットワークオーディオの普及啓発に努めた。

2. オーディオ等に関する普及及び啓発（定款第 4 条第 2 号）

2.1. 「音の日」記念行事（「音の日」実行委員会 森 芳久委員長 ほか 9 名）

➤ 「音の日」実行委員会開催経緯（4 回開催）：

- ◇ 平成 25 年 8 月 23 日、9 月 20 日、10 月 15 日、11 月 8 日

➤ 活動内容：

- ◇ 第 18 回 「音の匠」の選出、及び「音の日」イベントの企画運営を行った。
- ◇ 第 18 回 「音の匠」顕彰式：
 - ・平成 25 年 12 月 6 日（金）湯島 東京ガーデンパレス 天空の間 参加 80 名
 - ・第 18 回になる平成 25 年度は、「“VOCALOID”の開発・応用による“新たな音楽及び、音の表現方法により、新しい文化を創造”されたヤマハ株式会社 事業開発部 yamaha+ 推進室 VOCALOID プロジェクトリーダーの剣持 秀紀氏を「音の匠」として顕彰。電波新聞社社長 平山 哲雄氏より受賞者に記念品が贈呈された。
- ◇ 「音の日」20 回を振り返る
 - ・平成 25 年 12 月 6 日（金）湯島 東京ガーデンパレス 天空の間 参加 80 名
 - ・平成 25 年度はその制定から 20 回目の「音の日」に当たり、記念イベントとして“「音の日」20 回を振り返る”を「音の日」実行委員会 森委員長の司会で開催した。
- ◇ 「音の日のつどい」パーティ：
 - ・12 月 6 日（金）湯島 東京ガーデンパレス 天空の間 参加 200 名
 - ・音の匠、日本プロ音楽録音賞受賞者を祝し、交流パーティを日本レコード協会、日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、演奏家権利処理合同機構 MPN の共催で実施。

2.2. デジタルホームシアター（DHT）普及委員会（鈴木 弘明 委員長ほか 20 名）

➤ 委員会開催経緯（11 回開催）

- ◇ 平成 25 年 4 月 2 日、5 月 14 日、6 月 14 日、7 月 18 日、8 月 20 日、9 月 19 日、10 月 30 日、12 月 4 日、平成 26 年 1 月 30 日、2 月 28 日、3 月 17 日

➤ 主要活動内容

- ◇ ホームシアター市場の健全な普及に向け、「デジタルホームシアター取り扱い技術者」資格認定講座（DHT 認定講座）を実施し、適切な技能を持った技術者の養成を行うためのカリキュラムの策定や教材の検討を行った。

- ◇ 平成 25 年 7 月 20 日に大阪府電気工事工業組合美章園支部にて「DHT 体験セミナー」を実施した。石井 伸一郎氏の「音響理論」、鴻池 賢三氏の「映像理論」に絞った講義により、DHT 認定講座の認知拡大に努めた。

2.3. サラウンドサウンド部会（小谷野 進司 主査 ほか 12 名）

➤ 部会開催経緯

- ◇ 平成 25 年 4 月 2 日に単独での部会開催を終了、5 月より DHT 普及委員会傘下で活動。

➤ 主要活動内容

- ◇ 5 月 1 日「サラウンドの日」の関連行事とし、平成 25 年 5 月 1 日から 3 日の 3 日間、協会にてホームシアター関連のミニセミナーを実施。参加者数は約 50 名、内容は下記の通り：
 - ・ビギナー講座【バータイプで楽しむホームシアター】：話題のバータイプスピーカーでホームシアターを体験。合わせて、ホームシアターを引き立てる、効果的な照明テクニックを紹介。講師：田中 祥司氏、白岩 紀人氏
 - ・映像講座【こうすれば良くなる TV の映像調整】：テレビの設置方法から、易しい調整テクニックを紹介。講師：市川 俊一氏、白岩 紀人氏
 - ・音をよくする部屋作り講座【リビングで良い音を】：簡単にできる音のコントロールテクニックを、理論と実験を交え紹介。講師：小谷野 進司氏、武田 正美氏

2.4. 録音機器・技術普及委員会（岩出 和美 委員長 ほか 5 名）

➤ 委員会開催経緯（3 回開催）

- ◇ 平成 25 年 7 月 1 日、9 月 24 日、平成 26 年 2 月 26 日

➤ 主要活動内容

- ◇ 平成 25 年 10 月 20 日に「オーディオ・ホームシアター展」内のイベントとして、女性 4 人編成弦楽四重奏演奏会・録音体験会を開催。録音体験会としての参加者は 55 名、演奏会へのリスナー参加者は約 100 名。
 - ・演奏者：「カルテット・クローデル」＊バイオリン×2、ビオラ×1、チェロ×1、
- ◇ 平成 25 年 12 月 1 日に「チェンバロ独奏・録音会」を、世田谷区「松本記念音楽迎賓館」ホールで開催。演奏会・録音会への参加者は 23 名
 - ・演奏者：「石川陽子氏」＊チェンバロ独奏、

2.5. オーディオ・ホームシアター展における協会主催イベント

➤ 工作教室：平成 25 年 10 月 19 日、第 1 回 11：00～、第 2 回 14：30～

◇ 高級イヤホン組み立て教室

- ・第 1 回 15 名、第 2 回 18 名 合計 33 名の参加者があった。

➤ 音のサロン：平成 25 年 10 月 18 日、19 日、20 日開催

- ◇ 会員会社 13 社により構成される「音のサロン委員会」が企画し、「良質の再生音楽を良質の再生環境で楽しんでいただくライフスタイルの普及」を目指し、お台場「TIME 24」の 18 階の会場にて「音のサロン」を開催。3 日間で 700 名前後のお客様が来場され大好評を博した。開催された 10 のプログラムは下記の通り：

- ① 最新の高音質パッケージ音楽の紹介
 - ・講師：カメラータ・トウキョウ 中野 浩明氏、キュー・テック 小池 俊久氏、ナクソ
ス・ジャパン 白柳 龍一氏
- ② 最新高音質の配信音源を聴く（パート 1）
 - ・講師：e-onkyo music
- ③ JAZZ の魅力を語る
 - ・講師：音楽プロデューサー 伊藤 八十八氏
- ④ モノラルレコードの醍醐味
 - ・講師：真空管オーディオ協議会評論家 新 忠篤氏
- ⑤ 最新高音質の配信音源を聴く（パート 2）
 - ・講師：KRIPTON HQM STORE
- ⑥ 女性ボーカルの魅力を聴く：坂本冬美 11 月発売の新譜 CD
 - ・講師：ユニバーサルミュージック 山口 栄光氏
- ⑦ 最新スピーカー試聴会：8 機種聴き比べ
 - ・講師：出展各社 音のサロン委員会委員
- ⑧ 学生によるクラシック・ディスクコンサート
 - ・講師：東京大学・早稲田大学・東京外国語大学から新津 健一郎氏、結城 貴和氏、島
田 拓実氏、松本 元太郎氏の 4 名
- ⑨ 最新 PC オーディオ試聴会 USB DAC 6 機種聴き比べ
 - ・講師：出展各社 音のサロン委員会委員
- ⑩ 価格帯別コンポの魅力を探る：80 万～700 万円の 5 タイプの試聴
 - ・講師：オーディオ・ビジュアル評論家 麻倉 怜士氏

2.6. 音のサロン委員会（高松 重治委員長 ほか 13 名）

➤ 委員会開催経緯（11 回開催）

◇ 平成 25 年 4 月 22 日、5 月 29 日、6 月 20 日、7 月 23 日、8 月 27 日、9 月 20 日、10 月 9
日、11 月 14 日、12 月 16 日、平成 26 年 2 月 6 日、3 月 6 日

➤ PC オーディオ WG 開催経緯（1 回開催）

◇ 平成 26 年 1 月 15 日

➤ 主要活動内容

◇ 「日比谷音のサロン」（4 回開催）

- ・平成 25 年 5 月 22 日、9 月 25 日、12 月 12 日、平成 26 年 3 月 19 日
- ・日比谷図書館、日本レコード協会、日本オーディオ協会の共催により、毎回異なる音楽の
テーマを決め、講師を招き「日比谷図書館」にて実施。機材は「音のサロン委員会」企業
製品を選択。定員 60 名のところ毎事前予約のみで満員になり大盛況であった。平成 25
年度の内容は下記の通り。

※ 第 4 回 平成 25 年 5 月 22 日：「JAZZ の魅力」講師：伊藤 八十八氏

※ 第 5 回 平成 25 年 9 月 25 日：「90 年代 邦楽ロック特集」講師：中村 貴子氏

※ 第 6 回 平成 25 年 12 月 12 日：「数々の名曲を高音質ディスクで聴く」

講師：森 芳久氏

※ 第 7 回 平成 26 年 3 月 19 日：「女子ジャズ」講師：島田 奈央子氏

◇ 「オーディオ・ホームシアター展－音のサロン」

- ・平成 25 年 10 月 18～20 日のオーディオ・ホームシアター展期間中に開催。詳細は 2.5 項の「オーディオ・ホームシアター展における協会主催イベント」参照のこと。

◇ 「PC オーディオ講座」(4 回開催)

- ・PC オーディオ講座：平成 25 年 4 月 20 日、7 月 27 日、10 月 14 日（於：真空管フェア）
- ・ハイレゾ音源の楽しみ方講座：平成 26 年 3 月 1 日
- ・「音のサロン委員会」参加各社のハード・ソフトを組み合わせ、講師は各社持ち回りとし、協会を会場に、1 日 2 回（午前、午後）の開催。立ち上がり始めた市場でもあり、技術面、使用面での混乱が多く、これらの課題に対してデモを交え、判り易く解説し PC オーディオの普及啓発を行った。定員は各回 20 名としているが常に満席となり、女性、遠方からの受講者も参加する人気度の高い講座となっている。

3. オーディオ等に関する基準の作成（定款第 4 条第 3 号）

- 平成 25 年度としての新たな基準作成は行わなかったが、平成 26 年 3 月 26 日の理事会にて、昨今のハイレゾ音源の普及に伴い、ハイレゾオーディオのガイドラインの設定、CD-1 に続くテストディスクの開発に関して議論した。共に平成 26 年度の課題として検討を継続することとした。

4. オーディオ等に関する情報の収集及び提供（定款第 4 条第 4 号）

4.1. JAS ジャーナル誌の発行とホームページによる情報提供

- 会誌「JAS ジャーナル」を平成 25 年 5 月 28 日、7 月 29 日、10 月 1 日、11 月 29 日、平成 26 年 1 月 30 日、3 月 31 日に刊行した。
- 編集委員会開催経緯（6 回開催）（君塚 雅憲委員長ほか 9 名）
 - ◇ 平成 25 年 6 月 14 日、7 月 24 日、9 月 26 日、11 月 18 日、平成 26 年 1 月 24 日、3 月 17 日
- JAS ジャーナルの主なテーマ
 - ◇ 平成 25 年 5 月号：オーディオと計測（スピーカーを中心として）ほか合計 7 件
 - ◇ 平成 25 年 7 月号：平成 25 年度サラウンドの日体感視聴会報告ほか合計 8 件
 - ◇ 平成 25 年 9 月号：PC オーディオ特集ほか 15 件
 - ◇ 平成 25 年 11 月号：スーパーハイビジョン音響の技術解説と標準化動向ほか 8 件
 - ◇ 平成 26 年 1 月号：リスニングルームの最新音響技術ほか合計 12 件
 - ◇ 平成 26 年 3 月号：第 20 回「音の日」イベントと第 18 回「音の匠」顕彰についてほか 6 件

4.2. 協会ホームページの運用（<http://www.jas-audio.or.jp/>）

- JAS ジャーナル 6 冊の記事、及び 36 件のイベント紹介等のトピックス・ニュースを掲載し、音展ホームページを含め、年間約 70 万ページビューの利用があった。

4.3. ホームシアターサウンドホームページの運用 (<http://hometheater-s.jp/>)

- 平成 22 年度より JEITA サラウンドサウンド専門委員会の協力の下、「解りやすくホームシアター提案をするサイト」として立ち上げたが、平成 25 年度はホームシアター機器を実際に使用した体験レポートページを追加し、コンテンツの充実を図った。年間のページビューは約 40 万程であった。

4.4. ネットワークオーディオホームページの運用 (<http://network-audio.jp/>)

- ネットワークオーディオに関する情報発信の為の専用サイトを JEITA ネットワークオーディオ専門委員会の協力の下、平成 25 年 10 月 18 日に立ち上げ、その後平成 26 年 3 月 13 日にリニューアルを行いコンテンツの充実を図った。本格的な稼働はこれからだが、ユーザーへの的確な情報提供を図っていく。

4.5. 「オーディオ・ホームシアター展」来場者分析

- 平成 25 年 10 月 18 日から 20 日に開催された「オーディオ・ホームシアター展」の来場者分析を行い、顧客動向分析データとして法人会員向けに情報提供を行った。

◇ 調査対象者及び人数

- ・事前登録者：有効データ 2,551 人
- ・来場者登録者：有効データ 1,551 人
- ・出口調査：有効データ 290 人

◇ 調査項目

- ・来場者基礎調査：エリア別及び東京都区部詳細
- ・来場者基礎調査：性別及び年代別構成比
- ・来場者基礎調査：東京都区部別人口と来場者区部別構成比
- ・来場者基礎調査：性別構成比トレンド比較
- ・来場者基礎調査：女性年代別構成比トレンド比較
- ・来場者展示会親和度調査：回数別人数構成比
- ・来場者展示会親和度調査：回数別・年齢別分布
- ・来場者展示会親和度調査：回数別構成比前年比較
- ・来場者展示会親和度調査：回数別構成比トレンド比
- ・来場者展示会意識調査：他会場を含む意識（出口調査より参考）
- ・来場者オーディオコア度調査：情報取得先別構成比前年比較
- ・オーディオマーケット調査：興味あるキーワード（出口調査より参考）
- ・オーディオマーケット変化度調査：興味テーマ別構成比トレンド比較
- ・オーディオマーケット調査：購入希望アイテム（出口調査より参考）
- ・展示会催事意識調査：イベント別構成比トレンド比較
- ・展示会催事ランキング調査：興味あるイベント（出口調査より参考）

4.6. 国内オーディオ業界出荷統計

- JEITA 出荷統計及び協会法人会員からの出荷情報を集計し、平成 25 年暦年のオーディオ業界

出荷統計として法人会員向けに情報提供を行った。

5. オーディオ等に関する展示会の開催（定款第 4 条第 5 号）

5.1. オーディオ・ホームシアター展（音展）の開催

- 平成 25 年 10 月 18 日から 20 日の 3 日間、東京都江東区の「TIME 24」（お台場）において、1 階、2 階、18 階の 3 フロアを使用し「オーディオ・ホームシアター展」を開催した。前年の秋葉原からお台場に会場を移し、以前から要望のあった「1 会場」「駅近・至便」を確保、84 社が出展し、オーディオ等の最新情報と機器展示がされた。
- 協会主催イベントとして「基調講演会」、「デジタルホームシアターセミナー」、「音のサロン」、「生録体験会」、「工作教室」等に加え「NHK スーパーハイビジョン・デモンストレーション」を開催。また、初日夜には参加企業と関連団体参加で「懇親会」を開催し約 90 名が参加。
- 協会主催ブースとして「PC オーディオ」、「ネットワークオーディオ」、「モバイルオーディオ」に加え、「ヘッドホン」「DAC」といった、最新オーディオ情報と機器展示を行い、オーディオ等の普及・啓発活動を行なった。
- 「オーディオ・ホームシアター展」出展社及び来場者
 - ◇ 出展社：84 社、協賛・協力社数：24 社・団体、来場者数：17,900 人
- 実行委員会及び関連説明会は下記の通り開催：
 - ◇ 実行委員会開催経緯（7 回開催）（実行委員会 中川 克也委員長 ほか 12 名）
 - ・平成 25 年度開催向け：平成 25 年 6 月 3 日、7 月 3 日、10 月 10 日、
 - ・平成 26 年度開催向け：平成 25 年 11 月 18 日、平成 26 年 1 月 21 日、2 月 25 日、3 月 26 日
 - ◇ 出展社募集説明会：平成 25 年 6 月 13 日 36 社 41 名出席
 - ◇ 展示装飾説明会：平成 25 年 7 月 26 日 24 社 30 名出席
 - ◇ 記者発表会：平成 25 年 7 月 26 日 16 社 17 名出席
- ホームページ運用開始：平成 25 年 6 月 14 日

6. オーディオ等に関する人材の育成（定款第 4 条第 6 号）

6.1. 「デジタルホームシアター取り扱い技術者」資格認定講座（DHT 認定講座）の実施

- ホームシアター市場の健全な普及に向け、ホームシアター関連の販売店員、建築士、インテリアコーディネーター、インストラクター等を対象に「取り扱い技術者資格認定講座」を実施。
- 平成 25 年度の開催は下記の通り：
 - ◇ スペシャリストコース（2 級）： 第 6 回（平成 25 年 11 月 20 日、21 日）
 - ◇ カスタムインストラクターコース（1 級）： 第 3 回（平成 26 年 2 月 18 日－20 日）
- 平成 22 年 9 月の講座開始から平成 26 年 3 月の講座にて延べ 122 名を資格認定した。

7. オーディオ等に関する内外関係機関等との交流及び協力（定款第 4 条第 7 号）

7.1. 日本プロ音楽録音賞の共催

- 第 20 回日本プロ音楽録音賞を日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、日本レコード協会、演奏家権利処理合同機構 MPN 共催にて実施した。84 作品の応募があり、審査で選ばれた最

日本オーディオ協会 Version 1.1 平成 26 年 6 月 5 日
優秀賞 6 作品、優秀賞 8 作品、ベストパフォーマー賞 1 作品、新人賞 2 作品の受賞者を「音
の日」の 12 月 6 日、湯島 東京ガーデンパレスにて表彰した。

➤ 「第 20 回日本プロ音楽録音賞」受賞作品一覧

◇ 部門 A 「2ch パッケージメディア」クラシック：応募総数 6 作品

- ・最優秀賞：「火の鳥」より「バレエ組曲《火の鳥》よりカスチェイ王の魔の踊り」
指揮：飯森 範親、演奏：東京佼成ウインドオーケストラ・日本コロムビア(COCQ-85011)
CD

※ マスタリング・エンジニア：毛利 篤氏 日本コロムビア

※ ミキシング・エンジニア：塩澤 利安氏 日本コロムビア

- ・優秀賞：「スクリヤービン：練習曲全集/ボリス・ベクテレフ」より「練習曲 嬰ハ短調 作
品 2-1」 ボリス・ベクテレフ・カメラータ・トウキョウ(CMCD-28281) CD

※ ミキシング・エンジニア：高島 靖久氏 カメラータ・トウキョウ

※ エディティング・エンジニア：宮田 基樹氏 カメラータ・トウキョウ

◇ 部門 B 「2ch パッケージメディア」ジャズ・フュージョン：応募総数 10 作品

- ・最優秀賞：「ケイコ・リー・シングス・スーパー・スタンダーズ 2」より「My Romance
(featuring 村上てつや from ゴスペラーズ)」

ケイコ・リー・ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル (SICP3435) CD

※ ミキシング&マスタリング・エンジニア：鈴木 浩二氏

ソニー・ミュージックコミュニケーションズ

※ レコーディング・エンジニア：米山 雄大氏

ソニー・ミュージックコミュニケーションズ

- ・優秀賞：「TOMA Ballads 3」より「The Summer Knows」

苔米地 義久・TOMA MUSIC (TOMA-0007) CD

※ ミキシング・エンジニア：高田 英男氏 フリーランス

※ マスタリング・エンジニア：袴田 剛史氏 FLAIR MASTERING WORKS

※ アシスタント・エンジニア：粕谷 尚平 ビクターエンタテインメント

◇ 部門 C 「2ch パッケージメディア」ポップス、歌謡曲：応募総数 27 作品

- ・最優秀賞：「「edition 10」より「Sandstorm」

paris match・ビクターエンタテインメント (VICL-63957) CD

※ ミキシング・エンジニア：谷田 茂氏 ビクターエンタテインメント

※ マスタリング・エンジニア：川崎 洋氏 FLAIR MASTERING WORKS

- ・優秀賞：「ソランジュ」より「ソランジュ」

上間 綾乃・日本コロムビア (COZA-772~3) CD

※ ミキシング・エンジニア：三浦 瑞生氏 ミキサーズラボ

※ マスタリング・エンジニア：Stephen Marcussen 氏 Marcussen Mastering

- ・優秀賞：「愛詞 (あいことば)」より「愛詞 (あいことば)」

中島 美嘉・ソニー・ミュージック アソシエイテッドレコード (AICL-2536) CD

※ マスタリング・エンジニア：酒井 秀和氏

※ ミキシング・エンジニア：甲斐 俊郎氏 フリーランス

※ レコーディング・エンジニア：藤田 敦氏 フリーランス

※ アシスタント・エンジニア：公文 英輔氏

◇ 部門 D 「2ch ノンパッケージ」：応募総数 11 作品

- ・最優秀賞：「GRACIM」より「Puzzle Ring」

渡辺 香津美 - ネット配信元：e-onkyo music フォーマット：96/24

発売元：ewe records / イーストワークスエンタテインメント

※ ミキシング&マスタリング・エンジニア：鈴木 浩二氏

※ レコーディング・エンジニア：渡辺 香津美氏

- ・優秀賞：「黎明」より「銀河の旋律」

深町 純 - ネット配信元：e-onkyo music フォーマット：96/24

※ ミキシング&マスタリング・エンジニア：沢口 真生氏 沢口音楽工房

※ アシスタント・エンジニア：伊藤 仁氏 フリーランス

◇ 部門 E 「サラウンドサウンド」：応募総数 4 作品

- ・優秀賞：「ベートーベン交響曲全曲演奏会 2012 年日本公演」より「ベートーベン交響曲第 6 番へ長調作品 68 「田園」 第 4 楽章～第 5 楽章」

指揮：マリス・ヤンソンス、演奏：バイエルン放送交響楽団・NHK エンタープライズ (NSBS-18600) Blu-ray Disc フォーマット：96/24 5.0ch

※ ミキシング・エンジニア：深田 晃氏 dream window

※ マスタリング・エンジニア：石井 亘氏 音響ハウス

※ 共同制作・エンジニア：島寄 砂生氏 NHK メディアテクノロジー

◇ 部門 F 「放送メディア」放送作品部門：応募総数 26 作品

「2ch ステレオ」

- ・最優秀賞：「オンガクジェネレーション」より「Fly Me To The Moon」

八代 亜紀×May J. - 日本放送協会 HDTV stereo 2013 年 8 月 10 日放送

※ ミキシング・エンジニア：野口 康史氏 日本放送協会大阪放送局

※ セカンド・エンジニア：佐藤 陽介氏 日本放送協会

- ・優秀賞：「ジェットストリーム 2013」より「夜間飛行(レイモン・ルフェーブル)」

指揮：円光寺 雅彦、演奏：東京フィルハーモニー交響楽団、ナレーション：伊武 雅刀・エフエム東京 FM stereo 2013 年 3 月 23 日放送

※ ミキシング・エンジニア：川島 修氏 エフエム東京

「マルチ ch サラウンド」

- ・最優秀賞：BS プレミアム「ハンサム JAZZ クリス・ボッティ日本公演」より「Flamenco Sketches」

クリス・ボッティ - 日本放送協会 HDTV 5.1ch 2013 年 3 月 20 日放送

※ ミキシング・エンジニア：小野 良太氏 日本放送協会

※ セカンド・エンジニア：西村 靖宏氏 日本放送協会

※ アシスタント・エンジニア：山村 秋則氏 日本放送協会

※ アシスタント・エンジニア：馬越 朝広氏 日本放送協会

- ・ 優秀賞：「2012 サイトウ・キネン・フェスティバル松本 オーケストラコンサート」より
「R.シュトラウス アルプス交響曲」

指揮：ダニエル・ハーディング 演奏：サイトウ・キネン・オーケストラ - 長野朝日放送株式会社 HDTV 5.1ch 2012 年 12 月 24 日放送

※ ミキシング・エンジニア：岩井 和久氏 長野朝日放送

※ セカンド・エンジニア：都鳥 真氏 長野朝日放送

※ セカンド・エンジニア：長野 健氏 SCI

◇ ベストパフォーマー賞：

- ・ 「But Beautiful」より「Teach Me Tonight」 後藤 輝夫 & 佐津間 純
ネット配信元： e-onkyo music フォーマット：192/24

◇ 新人賞：

- ・ 「ジャズィ・カンヴァセーション」より「ジャズィ・カンヴァセーション」
SOIL & “PIMP” SESSIONS Feat. RHYMESTER - ビクターエンタテインメント
(NCS-868) CD

※ ミキシング・エンジニア：渡辺 佳志氏 ビクターエンタテインメント

- ・ 「脱走のシーズン」より「脱走のシーズン」

Prague - キューンミュージック (KSCL-2148) CD

※ ミキシング・エンジニア：野口 素弘氏

ソニー・ミュージックコミュニケーションズ

7.2. 後援・協賛名義の使用承認

- リフォーム&インテリア 2013
- CEATEC JAPAN 2013
- 第 19 回真空管オーディオフェア
- Inter BEE 2013
- オーディオフェスタ・イン・ナゴヤ 2014 (平成 26 年 2 月開催)

8. オーディオ等に関するソフト、ハード及び出版物の制作及び販売 (定款第 4 条第 8 号)

- オーディオエンジニア及び一般ユーザーに向け、再生音の評価や測定に役立つ CD、DVD-Video 等の販売を行った。

◇ 平成 25 年度販売数合計：111 枚

◇ 主な内訳

- ・ CD-1 Audio Test 88 枚、DVD-V1 Audio Check (DVD) 12 枚、MLAS-1001~2
2 枚 COCQ-84695 3 枚、AES 001~003 4 組、QADS-1001 2 組

- ハイレゾ音源の販売：

◇ 平成 25 年 12 月 1 日に世田谷区「松本記念音楽迎賓館」ホールで行われた「チェンバロ独

奏・録音会」での音源をハイレゾ音源に編集し e-onkyo から配信し販売を行った。

◇ 販売数（ダウンロード数）：629（平成 26 年 3 月 31 日現在）

9. 総務事項

9.1. 通常総会

- 日時：平成 25 年 6 月 6 日（木） 13：30～15：00
- 場所：東京中央区 銀座ブロッサム
- 出席者数：正会員 253 名（委任状出席者を含む）
- 議事：
 - ◇ 第 1 号議案：平成 24 年度事業報告・決算報告並びに監事監査の承認を求める件
 - ◇ 第 2 号議案：平成 25 年度事業計画・収支予算について
 - ◇ 第 3 号議案：役員交代の承認を求める件

9.2. 理事会及び運営会議

- 第 1 回 日時：平成 25 年 5 月 22 日（水）15:00～17:30
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：理事 14 名、監事 2 名
- 第 2 回 日時：平成 25 年 6 月 6 日（木）15:00～15:30
場所：中央区銀座 銀座ブロッサム 出席者数：理事本人 16 名、監事 2 名
- 第 3 回 日時：平成 25 年 9 月 11 日（水）14:00～17:00
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：理事本人 10 名、監事 2 名
- 第 4 回 日時：平成 25 年 12 月 6 日（金）14:00～15:00
場所：湯島 東京ガーデンパレス「鶴」の間 出席者数：理事本人 11 名、監事 2 名
- 第 5 回 日時：平成 26 年 2 月 5 日（水）15:00～17:30
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：理事本人 14 名、監事 1 名
- 第 6 回 日時：平成 26 年 3 月 26 日（水）15:00～17:30
場所：日本オーディオ協会会議室 出席者数：理事本人 13 名、監事 2 名

9.3. 役員推薦委員会（役員改選に向けた役員案を理事会に提案。 齋藤 重正 委員長ほか 4 名）

- 平成 26 年 2 月 23 日（木） 18：00～20：00 参加者：6 名
- 平成 26 年 5 月 16 日（金） 17：00～19：00 参加者：4 名

9.4. 監事監査

- 日時：平成 25 年 5 月 17 日（金）10:00～12:00
- 場所：日本オーディオ協会会議室

9.5. 登記事項：

- 平成 25 年 7 月 11 日 役員登記

9.6. 平成 25 年度の会員数（平成 26 年 3 月 31 日現在）

- 法人会員 正：22 社、7 団体、賛助：21 社 合計 43 社、7 団体
- 個人会員 一般：229 名、シニア：111 名、賛助会員：2 名、会友：43 名 合計 385 名

9.7. 平成 25 年度の役員数（平成 26 年 3 月 31 日現在）

- 理事 19 名（うち会長兼専務理事 1 名、副会長 3 名）、監事 2 名

9.8. 平成 25 年度の職員数（平成 26 年 3 月 31 日現在）：

- 4 名

9.9. 表彰等

- 音の匠：
 - ◇ ヤマハ株式会社 事業開発部 yamaha+推進室 VOCALOID プロジェクトリーダー 剣持 秀紀氏
- 日本プロ音楽録音賞：
 - ◇ 最優秀賞 6 作品、優秀賞 8 作品、ベストパフォーマー賞 1 作品、新人賞 2 作品を表彰

9.10. 音の日のつどい

- 日本レコード協会、日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、演奏家権利処理合同機構 MPN との共同で実施
 - ◇ 平成 25 年 12 月 6 日（金） 湯島 東京ガーデンパレス
 - ◇ 参加 200 名

以上

平成26年6月5日

平成25年度 決算報告書(収支計算書)
(平成25年4月1日～平成26年3月31日)
(平成26年3月)

収入の部

(単位:千円)

	平成25年度収入予算				平成25年度収入実績				差 額			
	合計	一般会計	特別会計 (認定講座)	特別会計 (展示会)	合計	一般会計	特別会計 (認定講座)	特別会計 (展示会)	合計	一般会計	特別会計 (認定講座)	特別会計 (展示会)
1. 会費(含入会金) (1)	38,573	38,573			39,330	39,330			+757	+757		
2. 事業収入	29,665	1,155	2,730	25,780	28,916	1,335	708	26,873	-749	+180	-2,022	+1,093
普及・啓発 (2)	800	800			868	868			+68	+68		
評価用音源	355	355			467	467			+112	+112		
人材の育成 (3)	2,730		2,730		708		708		-2,022	+0	-2,022	
展示会(音展)	25,780			25,780	26,873			26,873	+1,093	+0		+1,093
3. その他収入 (4)	700	700			901	901			+201	+201		
4. 雑 収 入 (5)					2,630	2,630			+2,630	+2,630		
5. 敷金戻り収入 (6)					3,000	3,000			+3,000	+3,000		
6. 当期収入計(1～5)	68,938	40,428	2,730	25,780	74,777	47,196	708	26,873	+5,839	+6,768	-2,022	+1,093

- (注記) (1) 法人会員 正:22社、7団体、賛助21社、個人会員 一般:229名、シニア:111名、学生:2名、会友:43名 合計385名 (平成26年3月31日現在)
 (2) 音の日会費、音の日行事分担金
 (3) デジタルホームシアターセミナー受講料・教本収入
 (4) サラウンドHP協力金(JEITA)・フェスタ過年度売掛債権回収額・チェンパロ等生録収入
 (5) 築地事務所立ち退き料収入
 (6) 築地事務所立ち退き敷金戻り収入

支出の部

	平成25年度支出予算				平成25年度支出実績				差 額			
	合計	一般会計	特別会計 (認定講座)	特別会計 (展示会)	合計	一般会計	特別会計 (認定講座)	特別会計 (展示会)	合計	一般会計	特別会計 (認定講座)	特別会計 (展示会)
1. 事業支出	34,712	7,200	2,042	25,470	34,776	7,444	968	26,364	+64	+244	-1,074	+894
調査・研究												
普及・啓発 (1)	3,800	3,800			3,415	3,415			-385	-385		
基準の作成(音源) (2)	150	150			185	185			+35	+35		
情報の収集・提供 (3)	2,350	2,350			2,944	2,944			+594	+594		
展示会の開催(音展) (4)	25,470			25,470	26,364			26,364	+894	+0		+894
人材の育成 (5)	2,042		2,042		968		968		-1,074	+0	-1,074	
対外交流 (6)	900	900			900	900			+0	+0		
2. 管理費 (7)	1,560	1,560			3,060	3,060			+1,500	+1,500		
3. 事業管理費 (8)	31,650	31,650			30,217	30,217			-1,433	-1,433		
4. 敷金支出 (9)					1,750	1,750			+1,750	+1,750		
5. 造作支出 (10)					2,625	2,625			+2,625	+2,625		+0
6. 当期支出計(1～5)	67,922	40,410	2,042	25,470	72,428	45,096	968	26,364	+4,506	+4,686	-1,074	+894

収支バランス

7. 当期収支差額	+1,016	+18	+688	+310	+2,349	+2,100	-260	+509	+1,333	+2,082	-948	+199
8. 前期収支差額	+4,494	+25,080	-2,595	-17,991	+4,494	+25,080	-2,595	-17,991				
9. 次期繰越収支差額	+5,510	+25,098	-1,907	-17,681	+6,843	+27,180	-2,855	-17,482				

- (注記) (1) 音の日行事、音のサロン、DHT委員会、活動費用
 (2) オーディオシステム評価用ディスク制作、仕入代金等
 (3) JASジャーナル、JASホームページ運用費、ホームシアターサウンドWeb運用費等
 (4) 音展(オーディオ・ホームシアター展)
 (5) デジタルホームシアターセミナー資格認定講座
 (6) 他団体への協力金(日本プロ音楽録音賞運営委員会、デジタルコンテンツ協会、モバイルオーディオ推進協議会、インテリア産業協会)
 (7) 協会一般事業の管理経費(含む総会)
 (8) 一般会計事業に伴う固定的経費
 (9) 新事務所入居に係る敷金
 (10) 新事務所間仕切り工事(事務所移転に係る支出)